



# 四 気 折 々

川越町立川越中学校  
学校だより 第21号  
令和元年 12月23日

四気＝川越中校訓「やる気 ほん気 こん気 げん気」

## 後につながりましょう！

78日間あった2学期の最終日を迎えました。

2学期始業式には、素敵な先輩のエピソードを紹介しました。川中生のみなさんは覚えているでしょうか。それは、3年生で担任してもらった先生に感謝の気持ちとして、初給料で購入した記念品を、保護者の方とともに届けに来てくれたというエピソードです。実はこの先輩にはまだ素敵なエピソードがあるのです。それは「授業をうまく進めることができず、落ち込んでいた教育実習生を元気づけてほしい」と、私（校長）がお願いしたことです。素敵な先輩は、私の願いをしっかりと叶えてくれました。後日、私が素敵な先輩にお礼を告げると、「なんで僕だったの？」と素敵な先輩は問い掛けました。そのとき、私は「僕だから」と答えました。その「僕だから」を表す意味を、川中生のみなさんならわかりますよね。そうなんです。私とその素敵な先輩に対して絶対的な信頼感を持っていたからです。「僕だから、必ずやり遂げてくれる」と信じていたからです。このエピソードに係る話も、2学期の始業式で触れています。それは、世界柔道混合団体戦を例に、こんな学級・学年にしたいという「信念」のもと、同級生と心通わせ「信頼」し、一人一人が自分に出来ることを「責任」持って取り組んでほしいとお願いしたことです。どの学級・学年もそのように取り組んできたことでしょう。そして、この素敵な先輩の後に続き、令和という新しい時代を自分なりに邁進していきましょう。

最後になりましたが、本日まで大過なく学校生活を送ることができましたのも、保護者の皆様をはじめ、地域の方々のご理解とご協力によるものであると感謝申し上げます。また、明日から始まる15日間の冬休みにおいて、お子様のけがや病気、事故に十分お気をつけていただき、1月8日（水）には、元気な姿でご家庭から送り出していただきますようどうぞよろしくお願いいたします。

## 川越・女子 40位 (令和元年12月16日(月)付け伊勢新聞見出しと同タイトル)

12月15日(日)に滋賀県希望ヶ丘文化公園施設で開催された第27回全国中学校駅伝競走大会に三重県代表として出場した本校女子チームの5人がタスキを繋ぎ、45分24秒でゴールを駆け抜け、40位でゴールしました。また、控え選手3人はオープンレースに参加して、練習の成果を遺憾なく発揮しました。現地で声援を送る私たちに、計り知ることのできないプレッシャーに押し潰されることなく確実にタスキを繋ぎ、感動と勇気を与えてくれた8人の選手を私は誇りに思います。また、生徒会本部主催で用意してくれた横断幕がこの8人に走りきる力を与えてくれたと確信しています。



遅れましたが、現地まで応援にお越しいただきました町長、教育長、関係者及び保護者の皆様に感謝申し上げます。このように絶えず温かい見守りをいただく中、新しい年を迎えましても、私たち教職員は、「自立した生徒の育成」に尽力してまいります。保護者の皆様には、新年になりましても変わらぬご理解・ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。